

# 「業務システム 内製開発 入門編」を電子Bookで発売！



## <巻頭言より>

本書は香川大学 DX 推進研究センター「DX ラボ」で実施してきた業務システム内製開発の成果と、職員を対象に実施してきたシステム開発 / データ分析ハンズオンの成果をベースに執筆されました。ハンズオンは、「情報系の技術職員ではない一般の事務職員でも理解でき、なんとか一人で取り組める内容で、しかも実際の業務にできるだけすぐに使えるものにしたい」と内容を工夫しながら実践してきました。そんな我々が試行錯誤しながら実施してきた業務システム内製開発やハンズオンの成果がこの本には詰まっています。

## システム開発/データ分析ハンズオン演習の参加者の声

- 何から取り組んだらいいかわからなかったが、取り組みを始めるきっかけになった
- 現在、システムを開発しているが、プロジェクトの進め方の参考になった
- 事務職員の立場でも業務改善、情報化、DX 推進に貢献できる実感を持つことができた
- 学生の立場でもシステム開発/データ分析で社会に貢献することができることがわかった
- 演習を通じて自分の組織におけるシステム開発/データ分析の着想が得られた



スマホやタブレット、  
PCで利用可能！



好評発売中

価格：¥2,750(税込)



## 購入方法について

- ①こちらのQRコードへアクセス(販売サイトOnSMaRTにて販売)
- ②利用者登録⇒支払い手続き(カード/コンビニ決済)
- ③EDX UniTextの利用に必要なID/PWをメールにてご連絡  
(決済完了後にID/PWが送付されます)

<https://smarts.maruzen.co.jp/myapp/#/TOS20100/13793/WAcvdmvsOQ169HYH>



EDX UniText



## EDX UniTextについて

インターネットに繋いでどんな端末でも利用可能です。  
紹介動画や使い方、詳しい情報は専用サイトをご覧ください。

UniText

検索



# 目次

巻頭言	i
Chapter1 はじめに	1
1.1 DX とシステム	1
1.2 情報システムの開発	1
1.3 仮説検証型アジャイル開発	2
1.4 香川大学 DX 推進研究センター「DX ラボ」	3
1.5 「DX ラボ」による勤務時間記録システム「KadaKintai/ カダキンタイ」の開発	4
1.6 業務システムの内製開発	6
Chapter2 業務システム内製開発実践入門	7
2.1 ローコード・ノーコードツール	7
2.2 Microsoft 365	7
2.3 Microsoft Power Platform	7
Chapter3 イベント参加受付システムを開発しよう	11
Step1 「イベント参加受付画面」を作成しよう	12
Step2 受付完了メール送信機能を開発しよう	19
Step3 申し込み情報管理機能を開発しよう	36
練習問題	49
事例 3-1) イベント受付システム	52
事例 3-2) 問い合わせ内容共有システム	54
Chapter4 会議室利用申請システムを開発しよう	56
Step1 会議室利用申請画面を作成しよう	57
Step2 利用申請情報管理機能を開発しよう	64
練習問題	95
事例 4-1) 課内決裁システム (情報部門版)	97
事例 4-2) 履修取り消し申請システム	100
Chapter5 イベント参加受付状況や会議室利用申請状況を可視化しよう	102
Step1 可視化に用いるサンプルデータと開発ツールを準備しよう	104
Step2 「イベント参加受付システム」の参加受付状況を可視化しよう	125
Step3 「会議室利用申請システム」の利用申請状況を分析しよう	149
練習問題	170
事例 5-1) 休暇申請可視化システム	175
事例 5-2) 就活状況報告・可視化システム	177
Chapter6 問い合わせ対応チャットボットを開発しよう	180
Step1 Power Virtual Agents を準備しよう	181
Step2 「チャットボット画面」を作成しよう	185
Step3 問い合わせ対応チャットボットを開発しよう～メール通知機能の開発～	192
練習問題	203
事例 6-1) 科研費申請問い合わせ対応チャットボット	207
事例 6-2) 学生便覧チャットボット	209
Chapter7 オープンデータを可視化してみよう	211
Step1 データを読み込ませてみよう	212
Step2 データをダッシュボードに表示させてみよう	216
Step3 ダッシュボードに目標データを追加して現状と目標とを比較してみよう	222
練習問題	225
著者の紹介	227
おわりに	229
付録 Power BI Desktop の準備	230



本書が提供した業務システム内製開発プロジェクトの運用ノウハウや、演習での体験をベースに、ぜひみなさん自身の業務をよりよくしていく取り組みを進めていただき、周りの方にも取り組みを広げていただき、ひいては日本全体の業務改善、情報化、DX 推進に貢献できることを著者一同願っております。  
(著者一同)